

みみネット

-Index-

紙上報告「第13回みみネットアカデミー」
知っておきたい！補聴援助システムのキホン⑥
チャレンジ！発音指導⑩（つ、ち音）



紙上報告

第13回 みみネット アカデミー

令和7年1月6日（月）に、本校主催の研修会「第13回みみネットアカデミー」を開催しました。参加者のアンケートとともに、研修会の概要を報告します。

Lesson 1 「きこえにくい子どもの心と体と保護者の想い」

講師：本校指導養護教諭 岡本 宏美

きこえにくい子どもの心理や、保護者の想いについて、養護教諭として日々感じることをお話ししました。聴覚に障がいのある子どもたちの課題となる行動や身体状況、本校のスクールカウンセリングの状況についてお伝えするとともに、子どもの心や保護者の想いが綴られている書籍の紹介なども行いました。また、本校の通級指導教室担当（3名）から、地域の小中学校に在籍している児童生徒の実際について、お話ししました。

＼書籍紹介／

「きこえない子の心・ことば・家族 ー聴覚障害者カウンセリングの現場からー」
河崎 佳子 著（明石書店）



今回の講義では、第1章から『ゴミ箱に散ったお弁当の「傷」』、第2章から『きこえなかったら言いなさい！』を紹介しました。聴覚に障がいのある子どもたちとその保護者が抱えている葛藤や心情が綴られています。

(参考) <https://www.akashi.co.jp/book/b64995.html>



参加者の感想

- ・子どもの心によりそうこと、保護者の思いによりそうことの大切さをあらためて感じました。
- ・本人や家族の声を聞いてよかったです。教員側の理解が必要だと思いました。
- ・事例をとおしてお話しいただいたのですごく「ハッ」とさせられるような内容でした。「きこえなかったらきこえないって言いなさい」と言ってしまいがちなことだなと気づき、きこえにくさを理解しようとするのを忘れてはいけないと感じました。
- ・たくさんの先生から、様々な立場から話をきかせていただいて、よい時間でした。
- ・保護者の想いは考えたことがなかったので、具体的な話をきかせていただいて、イメージができました。生徒、保護者に寄りそいながら、中学3年間、しっかり様子を見ていきたいと思っています。ありがとうございました。

Lesson 2 「私を感じたきこえる世界」

講師：本校教諭 志村 昌彦（小学部）

学校生活で困ったこと、社会人になってからの暮らし、そして「きこえない人からみた、きこえる世界への入り方」について、お話ししました。自分がしたこと、チャレンジしたい世界に自分でトライし、きこえる人との距離を縮めることの大切さについて、当事者の視点から様々なエピソードを交えてお伝えしました。



参加者の感想

- ・自分から世界に入っていきの大切さが Lesson 1 のお話とも重なる部分が多く、体験をお話いただいたことで、とてもよく分かりました。教室の席の場所、飲み会などについても、本人がどうしたいかをきいて、一緒に考えていったらいいのかなと思いました。
- ・貴重なお話をありがとうございました。努力されていることが、とてもよくわかりました。きこえる・きこえないにかかわらず、自分のやりたいことを伝え、コミュニケーションをとっていくこと、全ての人にとって大切なことだと思いました。
- ・話が面白かったです。困りごとにも共感できて、工夫する必要が社会にはまだまだあると感じました。
- ・実際に学校で困ったこと、一人暮らしをしていて困ったこと、会社で困ったことを知ることができて、担当している生徒に伝えたいと思った内容がたくさんありました。
- ・ものすごく良かったです！！ろうの方の話を伺える機会はなかなかないので。とても良かったです！！
- ・きこえる世界、きこえない世界、この2つの世界において、同じこと、違うことがあるということがよく分かりました。ご自身の経験や思いをたくさんお話しいただき、ありがとうございました。自分自身のコミュニケーションの取り方にも、とても参考になりました。

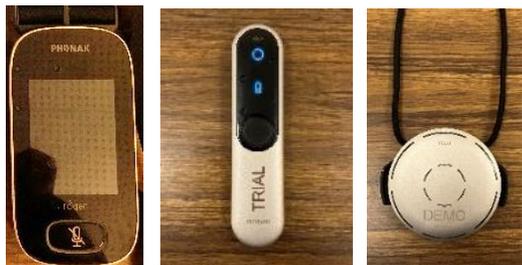


ご参加およびアンケートへのご協力、ありがとうございました！

知っておきたい！補聴援助システムのキホン⑥

本紙 No.345 では「補聴援助システム」を活用するときに気をつけるポイントとして、当事者の声をお伝えしました。今号では、補聴援助システム「ロジャー」の最新状況について、お伝えします。

以前は「ロジャータッチスクリーンマイク」「ロジャーオン」「ロジャーセレクト」が販売されていましたが、その第3世代として新たなシリーズが販売されました。新登場のシリーズは「ロジャー3シリーズ」となります。



ロジャータッチスクリーンマイク3
ロジャーオン3
ロジャーセレクト3

ロジャー3の送信機は、外観は従来のものと概ね同じですが、全機種に「ロジャーアンリミテッド」が搭載されています！

「ロジャーアンリミテッド」とは？

ロジャーダイレクトの機能をもつフォナック補聴器に、受信機の機能を簡単かつ無制限にセットアップできる機能です。

無制限の受信機が内蔵

従来のロジャーの場合、ロジャータッチスクリーンマイクなどの送信機のほか、専用の受信機も必要でしたが、「ロジャーアンリミテッド」が搭載された送信機（ロジャー3シリーズ）であれば、フォナックの対応補聴器に限り、無制限につなげることが可能となりました。

「ロジャータッチスクリーンマイク3」「ロジャーオン3」「ロジャーセレクト3」は、いずれも209,000円（税込）となります。詳細については、ホームページでご確認ください。

(参考) フォナック HP <https://www.phonak.com/>

チャレンジ！発音指導 ⑱

「チャレンジ！発音指導」シリーズの連載19回目をお届けします。今号では、「つ、ち音」の指導方法について、ご紹介します。

つ、ち音

バックナンバーについては、本校ホームページより閲覧可能です！「内容一覧」から、知りたいトピックの掲載号を、ご確認いただくことができます！

つ音はツア行音、ち音はチャ行音に属する音です。どちらも破裂付き摩擦音（破擦音）です。た、て、と音（No.338 掲載）やサ行音、シャ行音の要領を習得したうえで、つ音やち音の指導がするのが適当だと言われています。

つ音の構音点は、t音よりも前であり、s音よりも奥まっています。t音の構音で舌の先を歯茎につけて、破裂させると同時にs音の摩擦を出し、それにuをつけるとツ音になります。

構音点（調音点）：発音する際に使う口腔内の部位のことをいいます。例えば、「パ」と発音するときは、唇をとじます。唇をあけたままでは「パ」と発音することができません。唇で息の通り道をふさぐ必要があります。すなわち唇が「パ」の構音点ということになります。

「みみネット」編集部：

大阪府立中央聴覚支援学校 聴覚支援センター 担当：中咲、金森
〒540-0005 大阪市中央区上町1-19-31
TEL. 06-6761-1419 FAX. 06-6762-1800